

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日
東

上場会社名 アビックス株式会社 上場取引所
 コード番号 7836 URL <http://www.avix.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣田 武仁
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 桐原 威憲 (TEL) 045-670-7720
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	776	80.4	45	—	5	—	2	—	△6	—
2023年3月期第1四半期	430	19.3	△33	—	△70	—	△72	—	△83	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △78百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△0.19	—
2023年3月期第1四半期	△2.37	—

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,702	1,466	54.1
2023年3月期	3,056	1,465	47.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,461百万円 2023年3月期 1,463百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当の状況に関する注記

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,500	5.3	196	13.9	40	157.1	35	223.3	10	—
										0.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	35,129,566株	2023年3月期	35,129,566株
2024年3月期1Q	一株	2023年3月期	一株
2024年3月期1Q	35,129,566株	2023年3月期1Q	35,129,566株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となることをご承知の上、投資判断くださるようお願い致します。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと移行され、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復の兆しが見られました。一方、欧州における紛争の長期化や円安による原材料・エネルギー価格の高騰等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、「デジタルサイネージ業界No. 1」を目指すべく、引き続き積極的な拡大策を展開してまいりました。特にデジタルマーケティングに注力しWebからの情報収集を強化、獲得案件が増加したことで、新しいマーケットや新規顧客も開拓することができ、代理店との連携強化により、主力業界として取り組んでいるスタジアムやアリーナ等のスポーツ施設にて大型の案件を受注することができております。

これらの結果、当連結会計年度における業績は、売上高776,508千円（前年同期比80.4増）、営業利益5,025千円（前年同期は70,717千円の営業損失）、経常利益2,678千円（同72,511千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期当期純損失6,555千円（同83,102千円の親会社株主に帰属する四半期当期純損失）となりました。また、当連結会計年度におけるセグメントごとの業績は以下のとおりです。

①デジタルサイネージ関連事業

デジタルサイネージ関連事業は3部門あり、機器リース部門では主にデジタルサイネージのリース、運営部門ではデジタルサイネージ向けを中心とした販促支援サービス（コンテンツ配信等のソフト面でのサービスやメンテナンスの他、新たな販促支援サービス）の提供、情報機器部門ではデジタルサイネージの製造・販売を行っております。

機器リース部門、運営部門につきましては、リースや月額利用料の契約といったサブスクリプションサービスであることから、契約の増加が安定的な収益につながっております。

特に、CMS（コンテンツマネジメントシステム）「DiSi cloud」は堅調に推移しており、契約数、売上ともに増加いたしました。今後も「DiSi cloud」を軸とし、AIサイネージソリューション等を連携したデジタルプラットフォーム「MiRai PORT」を積極的に展開してまいります。

情報機器部門につきましては、上述のとおり、デジタルマーケティング、代理店との連携強化により、スタジアムやアリーナ等のスポーツ施設での大型案件の受注や、新しいマーケットや新規顧客も開拓する事が出来ました。以上の結果、デジタルサイネージ関連事業は売上高755,958千円（前年同期比85.6%増）、セグメント利益10,514千円（前年同期は71,129千円のセグメント損失）となりました。

②Value creating事業

デジタルプロモーション株式会社が運営するValue creating事業につきましては、自ら運営するハイパーローカルメディア「タウンビジョン」や地元密着の記者、各種SNSサービスの活用やターゲットユーザーに響くコンテンツ（記事、動画）制作により、地域での企業のPR、ファン作り、集客からブランディング、また地方自治体の魅力あるコンテンツ開発など地域に係るエリアファンマーケティング（地域密着型マーケティング）を行っております。

当事業はサブスクリプションモデルの事業が中心となっていることもあり、前期に引き続き安定的に売上を計上することができておりますが、新しいマーケットへの初期投資や人員の増強を積極的に行っていることもあり、現状は費用が先行している状況となっております。将来的に当社グループの基幹事業とするべく、引き続き拡大展開を進めてまいります。

以上の結果、Value creating事業は、売上高20,550千円（前年同期比11.1%増）、セグメント損失5,489千円（前年同期は412千円のセグメント利益）となりました

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産は、2,702,243千円（前連結会計年度比354,692千円の減少）となりました。その主な要因は、売掛金が減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債は、1,235,720千円（前連結会計年度比355,960千円の減少）となりました。その主な要因は、買掛金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、1,466,523千円（前連結会計年度比1,267千円の増加）となりました。その主な要因は、その他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	421,244	531,138
受取手形	13,193	140,580
電子記録債権	89,947	193,979
売掛金	1,236,845	463,534
商品及び製品	202,731	250,542
仕掛品	8,091	10,454
原材料	3,727	3,873
前渡金	187,538	239,327
その他	14,169	13,417
貸倒引当金	△955	△587
流動資産合計	2,176,532	1,846,260
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	20,868	20,271
車両運搬具（純額）	714	655
工具、器具及び備品（純額）	86,539	85,631
レンタル資産（純額）	6,832	14,489
リース資産（純額）	22,265	18,806
有形固定資産合計	137,220	139,854
無形固定資産		
のれん	598,336	571,545
その他	44,852	43,305
無形固定資産合計	643,188	614,851
投資その他の資産		
投資有価証券	45,482	47,032
その他	54,513	54,245
投資その他の資産	99,995	101,277
固定資産合計	880,404	855,983
資産合計	3,056,936	2,702,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	321,609	173,160
短期借入金	200,000	60,600
1年内返済予定の長期借入金	250,817	227,377
未払法人税等	14,478	6,666
リース債務	14,599	11,748
賞与引当金	25,609	11,956
前受金	125,891	122,141
その他	74,185	108,243
流動負債合計	1,027,190	721,894
固定負債		
長期借入金	389,755	336,559
リース債務	10,567	9,470
繰延税金負債	13,302	16,930
預り保証金	150,000	150,000
その他	865	865
固定負債合計	564,489	513,825
負債合計	1,591,680	1,235,720
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,564	1,207,564
資本剰余金	617,740	617,740
利益剰余金	△355,842	△362,398
株主資本合計	1,469,461	1,462,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	1,585
繰延ヘッジ損益	△7,056	△3,013
その他の包括利益累計額合計	△6,344	△1,427
非支配株主持分	2,139	5,045
純資産合計	1,465,256	1,466,523
負債純資産合計	3,056,936	2,702,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	430,377	776,508
売上原価	267,187	542,307
売上総利益	163,189	234,201
販売費及び一般管理費	233,907	229,176
営業利益又は営業損失(△)	△70,717	5,025
営業外収益		
受取利息	300	300
その他	302	50
営業外収益合計	602	350
営業外費用		
支払利息	2,273	2,452
その他	123	245
営業外費用合計	2,397	2,697
経常利益又は経常損失(△)	△72,511	2,678
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△72,511	2,678
法人税、住民税及び事業税	4,114	3,080
法人税等調整額	3,248	3,248
法人税等合計	7,362	6,328
四半期純損失(△)	△79,874	△3,649
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,227	2,906
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△83,102	△6,555

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△79,874	△3,649
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,125	873
繰延ヘッジ損益	—	4,043
その他の包括利益合計	1,125	4,917
四半期包括利益	△78,748	1,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,976	△1,638
非支配株主に係る四半期包括利益	3,227	2,906

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	407,251	23,125	—	430,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高	840	—	△840	—
計	408,091	23,125	△840	430,377
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△71,129	412	—	△70,717

(注) 1 セグメント売上高の調整額△840千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		調整額 (注1)	合計
	デジタル サイネージ関連	Value creating		
売上高				
外部顧客への売上高	755,958	20,550	—	776,508
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,009	—	△1,009	—
計	756,967	20,550	△1,009	776,508
セグメント利益又は セグメント損失(△)	10,514	△5,489	—	5,025

(注) 1 セグメント売上高の調整額△1,009千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)には、適当な配賦基準によって、各報告セグメントに配賦された全社費用を含んでおります。